



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日  
東

上場会社名 フルテック株式会社 上場取引所  
 コード番号 6546 URL <https://www.fulltech1963.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 重幸  
 社長執行役員  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 康之 (TEL) (011)-222-3572  
 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 2019年9月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	5,661	—	325	—	343	—	219	—
2018年12月期第2四半期	4,870	△1.1	175	△30.2	190	△48.3	113	△55.3

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 198百万円(—%) 2018年12月期第2四半期 111百万円(△59.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	40.80	—
2018年12月期第2四半期	21.20	—

(注) 1. 当社は前連結会計年度(2018年12月期)より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、2018年12月期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日)と2019年12月期第2四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日)とは対象期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	9,901	5,848	59.1
2018年12月期	9,265	5,742	62.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 5,848百万円 2018年12月期 5,742百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	10.00	—	17.00	27.00
2019年12月期	—	10.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	—	544	—	568	—	359	—	66.88

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2018年12月期は、決算期変更に伴い9ヶ月(2018年4月1日から2018年12月31日)決算となっておりますので、通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	5,367,800株	2018年12月期	5,367,800株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	125株	2018年12月期	125株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	5,367,675株	2018年12月期2Q	5,367,675株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は前連結会計年度（2018年12月期）より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。これにより前連結会計年度は2018年4月1日から2018年12月31日までの9ヶ月決算となっております。

このため、2018年12月期第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日）と2019年12月期第2四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年6月30日）とは対象期間が異なるため、前年同四半期との増減比較については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が高い水準で底堅く推移し、雇用情勢の着実な改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、米中通商問題の長期化や中国経済の減速等、海外経済の不確実性の高まりが懸念されており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、首都圏を中心とした新規販売のシェアアップ、トータルリニューアルの受注推進、プロセス管理の強化による収益向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は5,661百万円、営業利益は325百万円、経常利益は343百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は219百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 自動ドア関連

大型物件の反動減により、新規の自動ドア販売台数の減少はあったものの、取替台数及び保守契約台数の堅調な増加により、売上高は3,677百万円、セグメント利益（営業利益）は951百万円となりました。

#### ② 建具関連

足元の受注は好調な推移が続き、売上高は1,588百万円となり、選別受注による採算性の向上により赤字幅が縮小した結果、セグメント損失（営業損失）は24百万円となりました。

#### ③ その他

駐輪システム事業が好調に推移した結果、売上高は395百万円、セグメント利益（営業利益）は62百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、9,901百万円となり、前連結会計年度末と比べ636百万円の増加となりました。これは現金及び預金が678百万円、建物及び構築物（純額）が92百万円増加した一方で、仕掛品が141百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は、4,052百万円となり、前連結会計年度末と比べ529百万円の増加となりました。これは賞与引当金が305百万円、未払法人税等が243百万円増加したこと等によるものであります。

純資産総額は、5,848百万円となり、前連結会計年度末と比べ106百万円の増加となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益219百万円の計上と配当金91百万円の支払によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ678百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は945百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益341百万円、賞与引当金の増加額305百万円、たな卸資産の減少額121百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は158百万円となりました。

支出の主な内訳は、固定資産の取得による支出183百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は108百万円となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額91百万円、長期借入金の返済による支出10百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2019年2月8日の「平成30年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,074,959	2,753,666
受取手形及び売掛金	1,629,143	1,619,231
電子記録債権	332,446	347,727
仕掛品	1,264,959	1,123,020
原材料及び貯蔵品	140,648	161,097
その他	683,588	588,762
貸倒引当金	△6,302	△361
流動資産合計	6,119,443	6,593,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,013,803	1,106,131
土地	987,617	952,833
その他（純額）	147,391	141,233
有形固定資産合計	2,148,812	2,200,199
無形固定資産		
その他	121,531	136,903
無形固定資産合計	121,531	136,903
投資その他の資産		
その他	895,351	997,031
貸倒引当金	△19,966	△26,029
投資その他の資産合計	875,384	971,002
固定資産合計	3,145,728	3,308,105
資産合計	9,265,171	9,901,249

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,977,215	1,901,815
短期借入金	20,772	19,104
未払法人税等	12,968	256,282
賞与引当金	—	305,754
製品保証引当金	4,417	4,505
工事損失引当金	255	1,164
その他	892,657	990,265
流動負債合計	2,908,285	3,478,890
固定負債		
長期借入金	31,500	22,500
役員退職慰労引当金	200,130	208,250
退職給付に係る負債	364,272	329,610
その他	18,932	13,020
固定負債合計	614,835	573,380
負債合計	3,523,120	4,052,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	329,304	329,304
資本剰余金	289,864	289,864
利益剰余金	5,070,500	5,198,270
自己株式	△200	△200
株主資本合計	5,689,468	5,817,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,159	108,186
退職給付に係る調整累計額	△79,576	△76,447
その他の包括利益累計額合計	52,583	31,738
純資産合計	5,742,051	5,848,977
負債純資産合計	9,265,171	9,901,249

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,870,060	5,661,856
売上原価	3,135,111	3,703,844
売上総利益	1,734,948	1,958,011
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	83	88
給料及び手当	587,208	634,946
賞与引当金繰入額	68,124	130,278
退職給付費用	16,669	18,884
役員退職慰労引当金繰入額	11,511	12,320
貸倒引当金繰入額	—	121
その他	875,815	835,917
販売費及び一般管理費合計	1,559,412	1,632,555
営業利益	175,536	325,455
営業外収益		
受取利息	90	99
受取配当金	4,068	4,732
貸倒引当金戻入額	426	—
作業くず売却益	6,293	5,281
受取補償金	—	2,753
その他	5,107	6,234
営業外収益合計	15,987	19,101
営業外費用		
支払利息	204	121
リース解約損	394	715
その他	530	240
営業外費用合計	1,129	1,077
経常利益	190,394	343,480
特別利益		
固定資産売却益	—	7,434
特別利益合計	—	7,434
特別損失		
固定資産除却損	80	0
減損損失	2,656	222
投資有価証券評価損	—	4,963
ゴルフ会員権評価損	—	4,700
特別損失合計	2,736	9,886
税金等調整前四半期純利益	187,657	341,028
法人税、住民税及び事業税	67,985	232,935
法人税等調整額	5,891	△110,928
法人税等合計	73,876	122,007
四半期純利益	113,781	219,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,781	219,021



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	113,781	219,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,237	△23,973
退職給付に係る調整額	2,954	3,128
その他の包括利益合計	△2,282	△20,844
四半期包括利益	111,498	198,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,498	198,176

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	187,657	341,028
減価償却費	82,678	78,965
減損損失	2,656	222
固定資産除却損	80	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△426	121
賞与引当金の増減額 (△は減少)	33,561	305,754
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,139	8,120
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△27,923	△30,166
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△880	908
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	83	88
受取利息及び受取配当金	△4,159	△4,832
支払利息	204	121
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,963
ゴルフ会員権評価損	—	4,700
固定資産売却損益 (△は益)	—	△7,434
売上債権の増減額 (△は増加)	1,098,597	△5,369
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△264,790	121,490
仕入債務の増減額 (△は減少)	△443,814	△75,399
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△61,667	41,971
その他の資産の増減額 (△は増加)	△134,948	35,363
その他の負債の増減額 (△は減少)	66,100	72,414
その他	—	3,400
小計	543,148	896,431
利息及び配当金の受取額	4,256	4,832
利息の支払額	△204	△121
法人税等の支払額	△118,973	△6,489
法人税等の還付額	—	51,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	428,226	945,828
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,979	△1,600
定期預金の払戻による収入	10,979	1,600
有形固定資産の取得による支出	△5,487	△147,001
有形固定資産の売却による収入	—	43,251
無形固定資産の取得による支出	△15,588	△36,344
投資有価証券の取得による支出	—	△6,944
敷金及び保証金の差入による支出	△1,799	△1,002
敷金及び保証金の回収による収入	2,241	2,741
保険積立金の積立による支出	△14,888	△13,100
その他	△876	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,398	△158,314

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△33,068	△10,668
リース債務の返済による支出	△8,714	△6,690
配当金の支払額	△91,185	△91,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,967	△108,806
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	258,860	678,706
現金及び現金同等物の期首残高	2,235,286	2,055,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,494,146	2,734,152

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,440,748	1,118,026	4,558,775	311,285	4,870,060
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	7,335	7,335
計	3,440,748	1,118,026	4,558,775	318,620	4,877,396
セグメント利益 又は損失(△)	814,401	△29,174	785,226	45,624	830,851

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	785,226
「その他」の区分の利益	45,624
全社費用(注)	△648,463
棚卸資産の調整額	△24,851
その他の調整額	18,000
四半期連結損益計算書の営業利益	175,536

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,677,564	1,588,357	5,265,922	395,934	5,661,856
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	10,061	10,061
計	3,677,564	1,588,357	5,265,922	405,996	5,671,918
セグメント利益 又は損失(△)	951,386	△24,913	926,473	62,058	988,532

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	926,473
「その他」の区分の利益	62,058
全社費用(注)	△691,172
棚卸資産の調整額	10,096
その他の調整額	18,000
四半期連結損益計算書の営業利益	325,455

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。